

全国安全週間によせる

筑西労働基準監督署長メッセージ

日頃より労働災害の防止に多大なるご尽力を頂いておりますことに、深く敬意を表します。

さて、7月1日から7日までの1週間は全国安全週間です。

全国安全週間は、昭和3年に始まって以来、一度の中断もなく続けられ、今年で83回を迎えます。今年のスローガンは、「みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心」です。

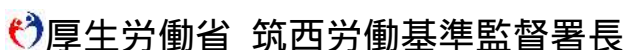
最近の筑西労働基準監督署管内の労働災害は、皆様のご協力により減少しており、昨年の休業4日以上労働災害は265件で、一昨年と比べ77件の減少となりました。しかしながらスレートの踏み抜きによる「墜落災害」と動力機械による「はさまれ・巻き込まれ災害」で2名の尊い人命が失われています。また今年3月には、仕事での交通死亡災害が発生しています。

筑西労働基準監督署では、「何としても死亡災害は撲滅したい」という強い気持ちで日々の業務に取り組んでいるところです。現在、死亡災害ゼロの連続日数の目標を300日間とした「筑西ゼロ災 - 300日運動」を強力に推進しておりますが、全国安全週間を契機にさらにこの運動を広げていきたいと考えています。

貴事業場におかれましては、安全の確保を企業が行うべき社会的責任の最重要事項として明確に位置づけ、トップ自らが先頭に立ち、強いリーダーシップを発揮していただき、死亡災害の撲滅に向け積極的に取り組んでいただくよう、ここに強く望むものであります。

最後になりましたが、皆様のご安全、ご健康とご活躍を祈念いたしまして、全国安全週間によせるメッセージといたします。

平成22年7月1日

厚生労働省 筑西労働基準監督署長

野口 清